

「総合的な学習の時間」モデル事業中間報告

(モデル校名 愛知県東海市立 加木屋中学校)

○学校の概要 (平成15年 4月現在)

東海市立 加木屋中学校									
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	5	—	—	—	1	14	25
生徒数	140	135	164	—	—	—	1	440	

1 「総合的な学習の時間」の課題

本校では、年度当初の調査により、学習において、計画を立て追求することはできているが、まとめたり発表したりすることが、うまくできていないと感じる生徒が多かった。また、総合的な学習の時間では、学んだことを生活の中で生かしていないと感じていた。

保護者も、生徒にいつその「考える力」「判断力」「行動力」がつくことを願っていた。これらのことから、学習を通して、児童生徒が、主題に対して主体的な態度で粘り強くやり通し、伝え合う力がつくようにしたいと考えた。

2 研究の目標

加木屋中学校区でのモデル事業の地域指定の研究主題を受け、校区小学校や地域各団体との連携をはかりながら、本校生徒の持つ課題を解決しようとした。

総合的な学習の時間では、各学年独自のテーマを、生徒自身にとって主体的に取り組めるとともに、達成感と発展性のあるものにしていくことを目指した。また、教科や領域の学習との関連もふまえて研究を進めた。

3 取組内容

生徒の実態調査や総合的な学習の時間の取組状況から、めざす生徒像を設定し、育成したい5つの力を各学年ごとに設定した。次に、東海市モデルカリキュラムから、各学年の総合的な学習の時間の目標を設定した。その目標の達成のために、また、東海市モデルカリキュラムを自校にあったカリキュラムに編成し直すために、教材や教具、指導過程を見直した。その活動の中で教師の力量向上のための授業改善にも取り組んだ。また、評価の見直し、総合的な学習の時間の単元と教科との関連の見直し、生徒が活動し易いための環境整備などを行った。

4 平成15年度の取組の成果と課題

研究の成果としては、育成したい力や総合的な学習の時間における各学年の目標を意識しながら授業実践に取り組むことができるようになってきたこと、自校にあったカリキュラムの編成がある程度の形になったことが挙げられる。課題としては、まだまだ生徒の思いを生かした単元構成になっておらず、教師主導の授業形態が多く見られること、育成したい力をよりよく身に付けさせていくための総合的な学習の時間と教科学習との関連が不十分である。また、単元や1単位時間での評価は設定はされているが、その評価方法が確立されてはいない。

5 平成16年度の取組

加木屋中学校区に適した、加木屋中学校区にだけ存在する郷土を愛する心を培うことのできるような総合的なカリキュラムの単元構成を行う。また、教師が変われば生徒も変わることを意識し、生徒主体で活動していけるように授業改善を行いながら、育成したい力を生徒に身に付けさせていく。そして、学習内容と評価の構造化を図りながら、めざす生徒像にせまる研究を行っていく。

・生徒の実態
・教師の願い
・父母の願い
・地域社会の実態

本校の教育目標

校訓 自主 協調 奉仕

・強い意志をもって活動する生徒
・集団の中で輝く生徒
・自ら進んで人に役立つ生徒

関係諸法規

・日本国憲法
・教育基本法
・学校教育法
・学習指導要領

特別活動

【学級活動】
自主的・実践的な活動を通して学級や学校生活の向上を目指し、生活をふりかえって自分の考えを伝えたり、話し合いの結果を生かしたりする態度を身につける。

【生徒会活動】
一人一人の活動が加木屋中学校を支えているという態度を育て、活動の計画を立てたり、実践したりする力を養う。

【学校行事】
自主的・実践的な態度を育てる場として学校行事を企画し、より充実した内容を目指して活発に話し合い、実行しようとする。

道徳

・自分の生き方を深く見つめ主体的に判断できる力を育てる。
・集団の一員としての自覚を高め、相手の立場に立った考え方や行動を身につかせる。
・郷土をつくりあげてきた伝統や文化、先人や高齢者に思いを寄せ、感謝の心を持ち、自分のまちをよりよくしようとする。

めざす生徒像

・地域に愛着をもち、自分のまちをよりよくしようとする子
・自分で問題を見つけ、主体的に追求することができる子
・自分を表現し、伝え合うことができる子
・自分をふりかえり、学びを生活に生かそうとする子

総合的な学習の時間で育てたい力

活動の意欲……自ら話し合いに参加したり、問題解決のために粘り強く活動したりしようとする力
設定する力……自分の生活や体験などから問題を発見し、活動の計画を立てる力
追求する力……必要な情報や資料を取捨選択しながら自分の問題を解決する力
表現する力……話し合いで自分の考えを話したり、問題解決したことをわかりやすく伝えたりする力
生活に生かす力……取組をもとに、情報を発信したり、できることを考えて実践したりする力

総合的な学習の時間の目標

総合的な学習の時間では、問題解決能力の育成と自己の生き方を考えることをねらいとしている。そこで、校区の特色を生かした活動を通して、自らの問題を解決する能力を育成することをめざし、地域を大切にしていこうという気持ちを培いながら、学びを生活に生かしていくことをめざす。

HAT21 (Human Action Time 21)

学年の発達段階に応じ、「学びを生かし、心豊かに生きる生徒の育成」をめざす。

各教科	
国語	自分の考えをもち、尊重し、目的を達成する力を育てる。相手の立場に立って論理的に文章を書ける。手や筆を効率的に用いる。
社会	広い視野に立って社会を多面的に考察し、多角的に社会の姿を捉える。資質の基礎を養う。
数学	日常生活のさまざまな事象を数理的に考察し、その姿を育む。
理科	自然現象のしくみと科学的に結びついたり、日常生活とのつながりや発せられることなどを探ることが出来る。
音楽	合唱表現を通して、歌の味わいや喜びを味わい、積極的に活動に参加できる。音楽を生活の中に取り入れ、豊かな心情を養うことができる。
美術	単元の目標に沿って制作課題を設定し、技能を研磨し、創意工夫のある表現活動を行うことができる。
保健	適度な運動が心身の健康に大切であること、運動の楽しさや面白さを理解し、日常生活で運動をしようとする態度を育てる。
技・家	習得した知識や技能を生かして、よりよい生活環境を創造しようとする意欲を育てる。
英語	英語で自分の考えを伝えたり、手紙や情報などを活用し、国際理解を深めようとする意欲を育てる。

各学年主な活動内容		
1年	2年	3年
<p>【水】 今後の地域のため池のあり方を通して、地域を大切にすることを高める。</p> <p>【生と死】 自他の生命を大切に守り育てていこうとする気持ちを育てる。</p> <p>【郷土】 校歌に込められている願いから、学校や地域への愛着を深める。</p>	<p>【水】 水源地を守る活動から、自然と人間の関係について考察する。</p> <p>【生と死】 「命を大切にすることは」、「生きていくとは」どういうことなのかを考える。</p> <p>【郷土】 大田川改造計画を提言し、東海市民としての自覚をもつ。</p>	<p>【生と死】 人生設計をすることにより、自分の生き方を見つめる。</p> <p>【郷土】 細井平洲と上杉鷹山の国を思う心に触れ、郷土を愛する気持ちを高める。</p> <p>【国際理解】 テーマを決めて英語で語り、総合的な学習のまとめを図る。</p>

平成16年度 HAT21年間計画案

東海市立加木屋中学校

1 年 生	2 年 生	3 年 生
深まりのある問題を設定し、協力して学び合いながら、生活や地域のために学んだことを生かすことができる子	他の意見を参考にして自分の考えを深め、学んだことを地域に働きかけることができる子	人・地域・社会との関わりから自分自身の在り方を考え、学んだことを自分の生活に生かすことができる子
校歌に込められた思いを深めたり、ため池の地域への役割を調べたりする過程を通して、地域への愛着を深め、地域を大切にしようとする気持ちを高める。 また、性と生と死について追求することにより、自らの命、そして、他の人の命の大切さを自覚する。	「水」の学習のまとめとして、一滴の水の大切さを実感しながら、東海市の一市民として、川や環境をよりよくするために関わっていこうとする主体的な態度を育成する。 また、脳死や臓器移植を追求することにより、生きていくことはどういうことなのかを自覚する。	郷土の偉人を追求したり、自分の人生設計を作成したり、9年間の総合的な学習の時間の思いを英語で語ったりすることにより、成長した自分に気付き、郷土を愛する気持ちを持ち、自己の生き方を見つめる意識を高める。
総 合		
プロジェクト活動 ⑮「世のため、人のため、学校のため」をテーマにして各自が活動内容を考え、同じ活動内容の生徒同士がプロジェクトを結成して、校内・校外（地域）活動に取り組む。		
オリエンテーション	オリエンテーション	オリエンテーション
①今年度のHAT21のオリエンテーションをする。	①今年度のHAT21のオリエンテーションをする。	①学年集会で今年度のHAT21の取り組みを説明する。
郷 土	食	国際理解
校歌をひもといて ⑥校歌に込められている願いや地域の願いを追求し、校歌の4番の歌詞を作ることにより、学校や地域への愛着を深める。	ふるさとの味 ⑥沖縄などの日本各地にある和食文化の多様性をさぐるとともに、郷土の味に込められた心をつかむ。	国際理解・協力 ⑮ 大使館やNGO、官公庁の人々との交流をきっかけとして、諸外国の人々の生活や文化を理解し尊重するとともに、国際社会に生きる日本人としての自覚を深める。
福 祉	水	郷 土
福祉について調べよう ⑪福祉について調べる過程を通して障害のある人や子ども、高齢者など、様々な人が暮らしている社会で「ともに生きる」気持ちをもつ。また、体験活動を行うことで、ボランティア活動の大切さを知り、日常的な実践活動へのきっかけとする。	水源地を守れ ⑬水源地を守るために何ができるかを考え、実践することにより、東海市（郷土）や地球規模でできる「水」を浄化する活動に取り組む態度を育てる。	細井平洲先生と米沢 ⑭細井平洲先生の教えを実践した上杉鷹山公の国を思う心に触れ、東海市を愛する気持ちを育てる。
郷 土	産 業	産 業

健康トマト料理を、あなたに ⑩地場産業の一つである「カゴメ」が東海市に果たした役割に目を向け、その製品を使った料理を学習することにより、自分の食生活の課題について考える。	名古屋の街探索 ⑬隣接都市名古屋の交通・産業・自然と人間との共存を事前学習し、現地での体験を通して学習効果を高める。	勤労体験をしよう ⑫自分の将来つきたい職業や、興味のある職業で勤労体験学習を行うことにより、責任・協力・忍耐などを学び取り、社会生活や生き方についての自覚を深める。
郷土	生と死	生と死
知多半島を体感しよう ⑧知多半島の地形的な特徴や自然について調べ、美浜宿泊研修の機会をとらえ、実際に見て確かめることで、郷土への愛着を高める。	命のゆくえ ⑥脳死や臓器移植について追求することにより、命の尊さを再確認し、命を大切にする気持ちをもつ。	大きな地震が起きる前に ⑦東海市民として、また家族の一員として防災の必要性を知り、自分や家族、地域の人々の命を守ろうとする態度を育てる。
水	水	食
ため池の役割は終わったのだろうか ⑫地域のため池を調べることにより、水が十分でなかった当時の人々の生活に改めて思いをはせ、今後のため池のあり方を通して地域を大切にする気持ちをもつ。	大田川改造計画 ⑬東海市の一市民として大田川環境をよくするために何が出来るかを考え、具体的な対策を自治体やコミュニティ等に提言することにより、市民としての自覚を高める。	ライフサイクルを考えた食生活 ⑫幼年期・青年期・壮年期・老年期などのライフサイクルに応じた食生活についてえ、それにあった献立を作ることにより、今後の食生活に生かそうとする態度を育てる。
生と死	食	生と死
命！このかけがえのない宝物 ⑨生と死について、自分の知りたい課題について調べ、命の誕生に自らかかわる時期にきていることを自覚する。	東海市発究極の弁当全国へ！ ⑫毎日口にする食品が人体に及ぼす害を実験を通して学習することにより、食の本来のあり方についての意識を高め、郷土色豊かな弁当を考える。	人生夢プラン ⑧人生設計を作成することにより、自分の生き方を見つめ、限りある命について考える意識を高める。
産業	郷土	郷土
いろいろな職業を調べよう ⑥身近な人の職業を調べ、将来について考えるとともに、調べる活動を通して社会人とふれ合い、その人生観をとらえ、自分の生き方についての参考にする。	細井平洲先生 ⑥平洲先生の人となりを目指すことにより、郷土の偉人から、学問の意義を学ぶ。	英語で語る ⑧東海市「生と死」「我が町の平洲先生」等テーマを決めて、英語で語り、総合的なまとめの時間の9年間のまとめを図る。
食		
米の鉄人 ⑦日本人の主食であるコメについてさまざまな角度から追求し、コメのある食生活を見直し、健康的な食生活を送ろうとする態度を養う。		